ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
EU41E103	教育実践課題研究Ⅱ(Themed Study of Educational Practice Ⅱ)	省察科目	

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員
選択必修	4	2	教育学研究科	通年	火3,火4	氏名　佐藤晋治，内田昭利，未定，河野晋也，藤村晃成，森竹啓介，髙橋徹弥，後藤竜太 E-mail　ssato@ oita-u.ac.jp(特別支援教育)，a-uchida@oita-u.ac.jp(授業開発・学級経営)　内

授業の概要	本授業においては，自らが学校実践実地研究Ⅱ，特別支援学校実践実地研究Ⅱにおいて，自らの研究課題についての具体的な探究方策を実践し，分析と考察を通じて検証したことを理論的に省察し，「教育実践研究報告書」のまとめにつなげる。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	それぞれの実地研究Ⅱで実施・分析・考察・検証したことを理論的に省察することができる					○	○				
目標2	「教育実践研究報告書」のまとめにつなげることができる					○	○				
目標3											
目標4											
目標5											
目標6											
目標7											
目標8											
目標9											
目標10											

授業の内容

1	【実習前】
2	・探究方策の具体化
3	・実践準備
4	・実習計画書の吟味
5	・先行研究調査
6	・文献調査
7	【実習中】
8	・実地研究Ⅱの1週間ごとの省察
9	・実地研究Ⅱの1週間ごとのまとめ
10	【実習後】
11	・実地研究Ⅱで実施した実践の理論的省察
12	・「教育実践研究報告書」のまとめにむけて
13	・教育実践研究フォーラムでの報告準備
14	
15	

アクティブラーニング			その他の工夫	
A:知識の定着・確認		演習・発表・ディスカッション		LMS（Moodle）の活用
B:意見の表現・交換	○			
C:応用志向				
D:知識の活用・創造	○			

時間外学修の内容と時間の目安	
準備学修	文献の精読（5h），先行研究調査および資料の収集（10h），発表資料の作成（15h）
事後学修	省察したことを整理する（10h）
教科書	特になし。授業中に指示する。
参考書	特になし。授業中に指示する。

成績評価の方法及び評価割合

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
複数教員による多面的・総合的評価（受講態度，課題に取り組む姿勢，討論への参加等）	50%	○	○								
教育実践研究フォーラムにおける発表，資料など	50%	○	○								

注意事項	
備考	
リンク	URL

担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	内田(小・中・盲学校)/河野(小学校)/森竹(中学校，教育委員会事務局)/髙橋(特別支援学校，教育委員会事務局)/後藤(小学校，教育委員会事務局)/他
実務経験をいかした教育内容	学校現場，教育行政現場，心理臨床の現場での実務経験及び領域専門性を活かして実習前・実習中・実習後の指導を行う。